

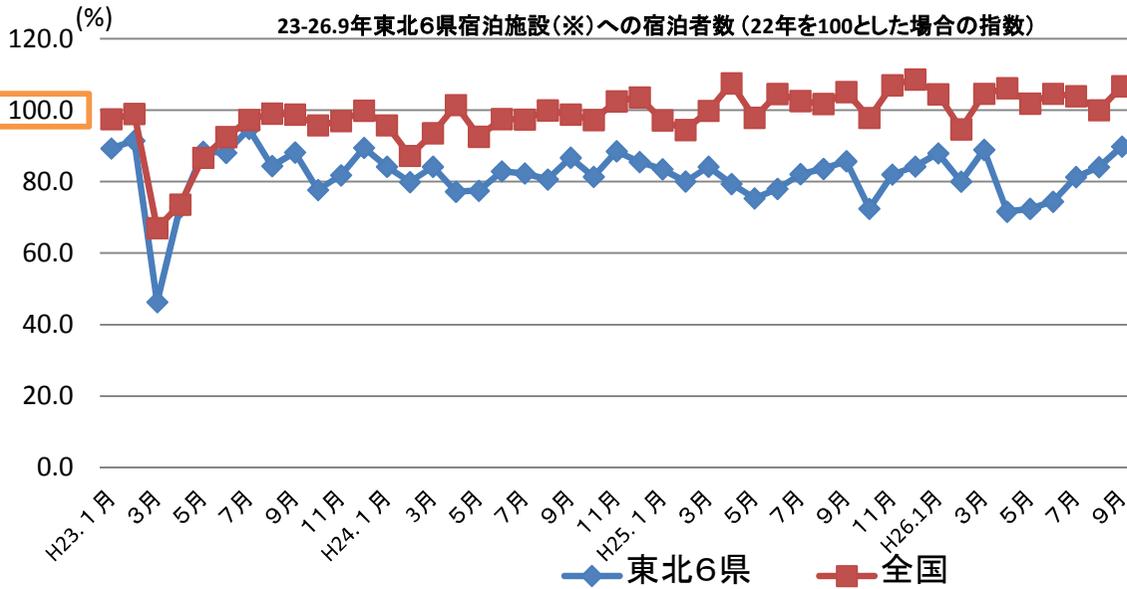
平成26年度第2回 富県宮城推進会議幹事会資料

平成27年3月26日
東北運輸局企画観光部

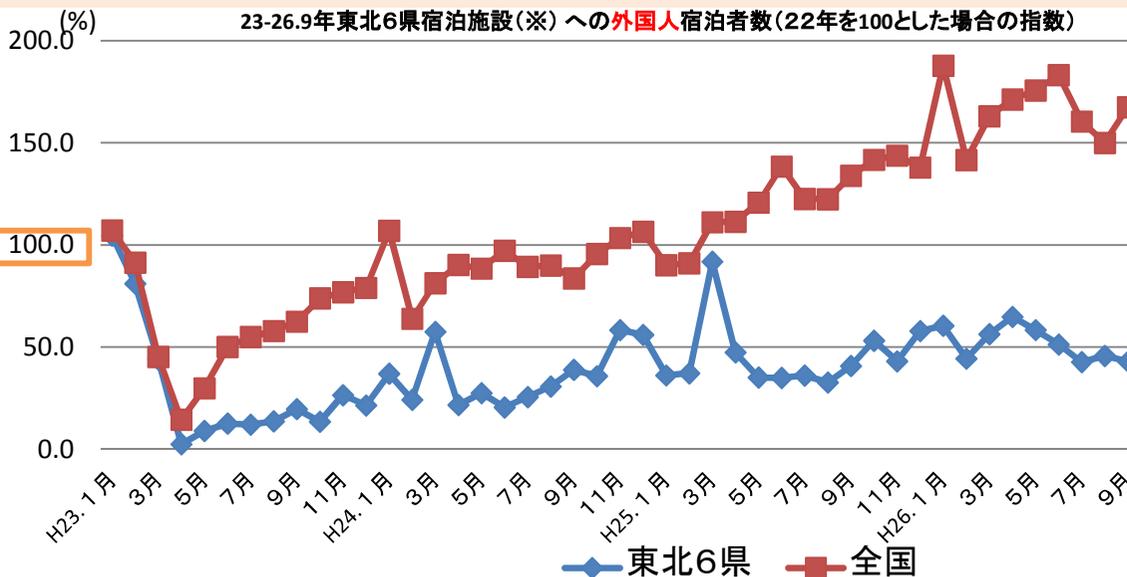
東北地方における観光の現状 ~東北6県の宿泊者数と東北地方へ来訪した外国人旅行者数~



東北6県の平成26年宿泊者（観光目的の宿泊者）数は、被災前の平成22年と比べ、約8割まで回復。



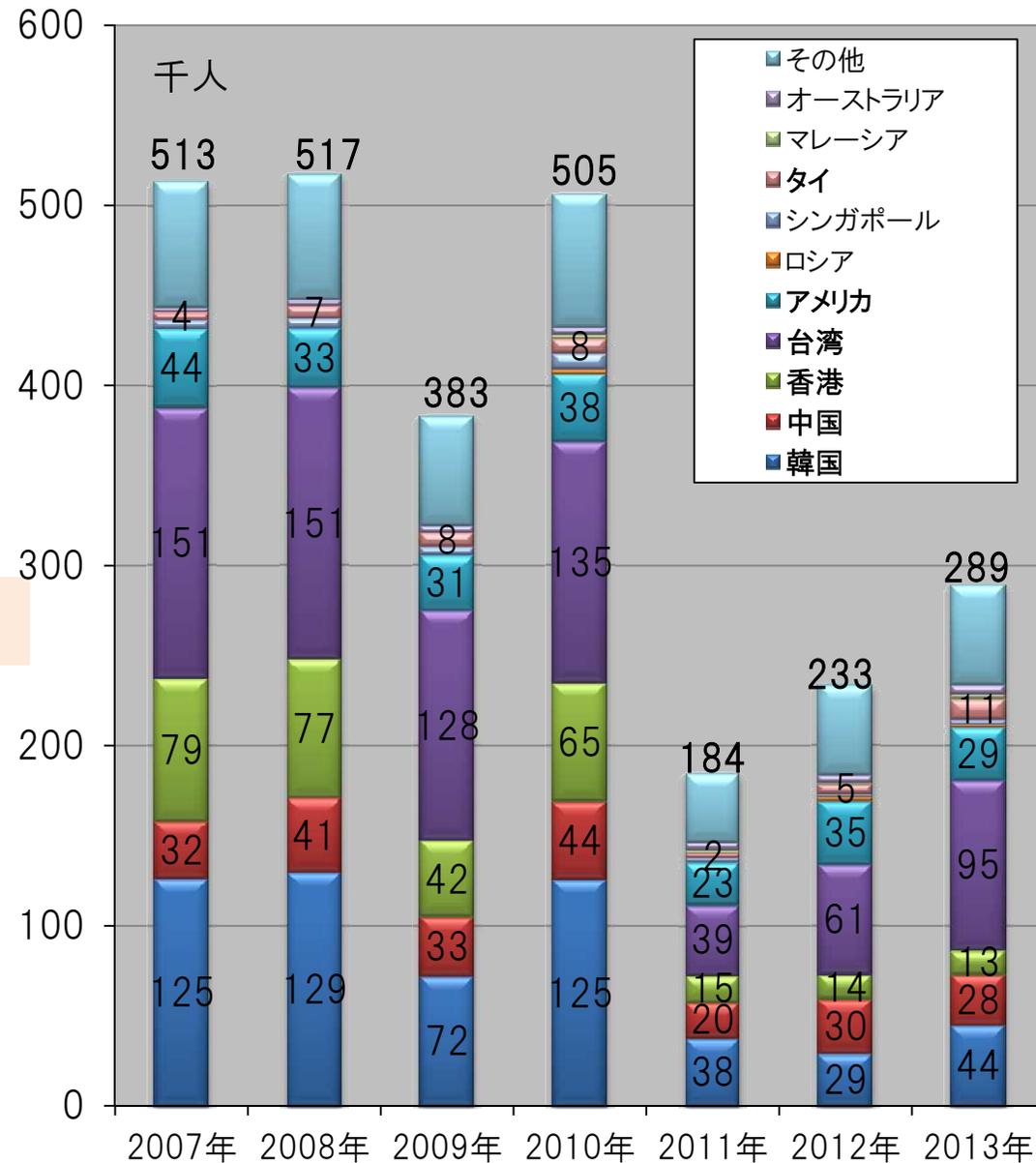
東北6県の平成26年外国人宿泊者（観光目的の宿泊者）数は、被災前の平成22年と比べ、約5割まで回復。



※観光目的の宿泊者が過半数を占める宿泊施設

出典:「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

2007年~2013年 東北地域の外国人延べ宿泊人数



出典:「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

【事業テーマ】

復興の先にある東北の観光

【基本方針および取組みの柱】

1) 太平洋沿岸エリア情報サイト「東北物語」の活用による「観光情報の充実」

- 旅行会社向け地域の滞在プログラム等の情報システム「旅の市場」を「東北物語」サイト内に整備
- 滞在プログラム等を一般観光客向けに加え、タリフ情報など旅行会社向け(ID・パスワード付与)も掲載

2) 滞在プログラム等の旅行商品化のための「コンテンツ開発とPR強化」

- 地域で開発したプログラムをテーマやゾーン別等に分類し、情報発信
- 「旅の市場」情報の地域資源を活かした語り部等の滞在プログラムの最新情報更新と効果的な活用促進

3) モニターツアーやファムトリップ等の実施による「送客支援」

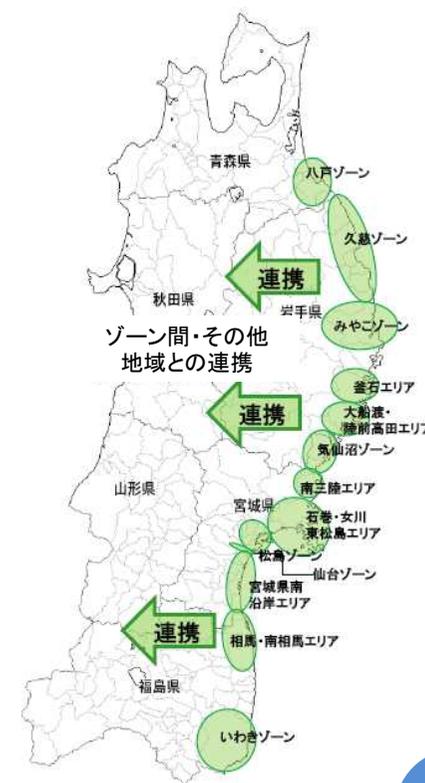
- JATA(日本旅行業協会)との連携により、加盟会社に対しモニターツアー等の施策で旅行商品造成支援
- 旅行会社向けファムトリップの実施や発地における応援シンポジウム開催等で旅行商品販売促進

太平洋沿岸エリア情報サイト

こころ、むすぶ。

東北物語

人と人・地域・自然、ひとつひとつを「むすぶ旅」



発地

【送客支援】

旅行会社・交通事業者・関係者の連携による支援

- 発地側ニーズの地域への情報提供
- 滞在プログラム等の商品化
- モニターツアー実施による滞在プログラム販売
- 各種イベント・セミナーの開催による情報発信

滞在プログラム
素材情報提供

発地側と着地側の 調整、マッチング

ニーズ収集
素材情報整備

着地

【滞在プログラム素材整備】

地域主体で復興を推進する観光コンテンツ整備

- 滞在プログラムの磨き上げ
- 情報発信および案内拠点の設置
- 地域案内人・語り部ガイドの確保・育成
- 滞在プログラム等の発掘と磨き上げ

AGT 各社へオープンデータとして
使い勝手の良い情報提供

【「東北物語」の活用】

- 「東北物語」サイトにおける滞在プログラム情報提供
- 旅行会社向け(タリフ・受入情報)のデータ整備
＜誰もが使いやすいサイト構築に向け、整備＞

旅行者

- (現地スマホ利用者)
- 個人旅行
 - ボランティア等

新商品

AGT

AGT

AGT

～観光地ビジネス創出の総合支援～

- 「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」(H25年度実施)での取り組み成果を活用。
- 観光地域づくりの担い手の育成と自主財源の確保に重点。自立的経営により観光地域づくりをビジネスにつなげる取り組みを支援。

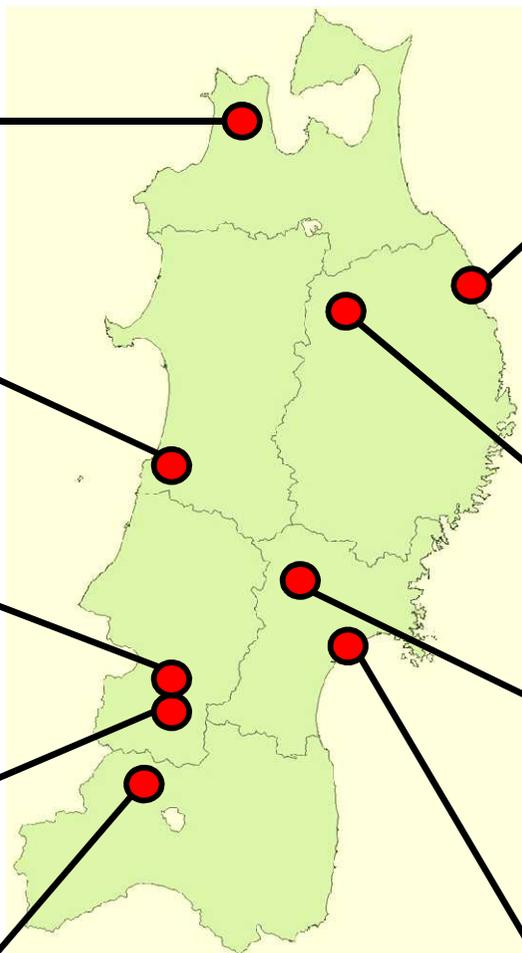
■NPOかなぎ元気倶楽部〔五所川原市〕
【提案名】奥津軽文化のルーツ 青森ひば材で栄えた
明治の豪商を探るトレイルの旅のビジネス化
【対象地域】五所川原市

■にかほ市観光振興プロジェクトチーム〔にかほ市〕
【提案名】行ってみる？来てみて！ほっと(温かい人)し
あ(会)える旅
【対象地域】にかほ市、由利本荘市、山形庄内地域

■山形鉄道株式会社〔長井市〕
【提案名】目指せ！フラワー長井線ランド
【対象地域】長井市・白鷹町・川西町・南陽市

■NPO南陽市観光協会〔南陽市〕
【提案名】ワインとぶどうの物語 見て、ふれて、食
べて感じる赤湯温泉
【対象地域】南陽市

■喜多方を漢字のまちにする会〔喜多方市〕
【提案名】「幸」って不幸なすがた？
【対象地域】喜多方市



■NPO久慈広域観光協議会〔久慈市〕
【提案名】北限の海女が潜るまち海女(あま)的北三陸
探訪 シーズン2
【対象地域】久慈市、洋野町、野田村、普代村

■七時雨マウントレイルフェス実行委員会〔八幡平市〕
【提案名】七時雨・アウトドアと短角牛の美味しい関係
♪体験プロジェクト
【対象地域】八幡平市

■NPOおおさき地域創造研究会〔大崎市〕
【提案名】発酵女子会inみやぎ大崎 働き女子の旅サ
プリ
【対象地域】大崎市

■Tatton事務局〔東松島市〕
【提案名】東北に生まれる新しい観光資源“純国産の
綿花”が繋ぐ未来「Tattonプロジェクト」体感
ツアー
【対象地域】東松島市

ビジット・ジャパン地方連携事業 ～東北ならではの分かりやすいテーマで発信～

桜と雪の回廊を同時に楽しめるといふ東北ならではの魅力について、海外エージェントの視察を通じて春の東北へのツアー商品造成を働きかけるとともに、海外メディア取材を通じて海外現地の一般消費者に具体的に発信し、東北の現状理解の促進と旅行需要の喚起を図る。

桜と雪を同時に楽しむ春の東北を発信(4月)

東北ならではの「桜と雪の回廊が同時に見られる」をテーマに、中国・香港・台湾から旅行会社、新聞社を2014年4月に招請。

東北各地の春の魅力を視察していただくとともに、東北地域の観光関係者との商談会を実施。

太平洋側コース

福島三春滝桜・飯坂温泉・山元いちご狩り・白石城・北上展勝地・八幡平雪の回廊 など

【招請】

台湾旅行会社5名
台湾新聞社 2名
中国ブロガー 1名



福島・三春滝桜を視察



八幡平雪の回廊を視察

日本海側コース

笹川流れ・あつみ温泉・月山雪の回廊・角館の桜・リゾートしらかみ・弘前城 など

【招請】

中国・香港旅行会社 6名
中国ブロガー1名

現地メディアでの記事掲載



外国人旅行者向けショッピング環境の改善

○免税対象品目の拡大

昨年10月から消耗品を含む全品目が消費税
免税の対象となり、地酒など地方の名産品
にも対象が拡大



○免税店になるための働きかけを実施

経産局等と連携して、各方面に説明会、相談対応等を実施。



	店舗数		増加数	増加率
	14.4.1	14.10.1		
東北全体	81	156	75	192.6%
青森県	5	12	7	240.0%
岩手県	2	18	16	900.0%
宮城県	58	94	36	162.1%
秋田県	2	7	5	350.0%
山形県	5	8	3	160.0%
福島県	9	17	8	188.9%

情報通信環境の改善

フリーWiFi取組

- NTT東日本、東北観光推進機構、東北運輸局、東北各県の連携による東北7県全体での外国人旅行者向けFree-WiFi環境を整備



ID/PASS
カード



- 東北7県内におけるID/PASSカード配布箇所（観光案内所、ホテルなど）は88カ所、アクセスポイント（レストラン、ホテルなど）は、NTT東日本エリアで約5万2千箇所（平成27年2月現在）。
- 今後は、アクセスポイントとなるエリアの拡大を進めるほか、チラシ等を活用して、ビジットジャパン地方連携事業で周知を図る。

SIMカードの販売

- 仙台市とソネットが連携し、仙台空港に外国人旅行者用プリペイドSIMカード自動販売機を設置。
- SNS等を通じて、海外へ発信。



目的

1. 東日本大震災からの復旧・復興に際しての台湾からの多くの支援に対する感謝の気持ちを伝える。
2. 知名度が低い東北の観光魅力について、オール東北で直接一般消費者に発信する。
3. 台湾の一般消費者への震災のイメージの払拭と東北の魅力的な観光情報を提供することで、東北への興味を喚起し、需要を高めることで、現地旅行会社、航空会社による東北旅行商品の造成・販売促進を図る。

内容

○ 名称:「日本東北六県感謝祭」

<https://www.facebook.com/2014tohoku/>

○ 開催日時:平成26年12月19日(金)～12月22日(月)

○ 開催場所:台湾花博会場EXPO Dome(台北市)

○ 主催:東北運輸局、日本観光振興協会東北支部、東北観光推進機構、各県等で構成する日本東北六県感謝祭実行委員会

○ 内容:東北から約150名が参加して、様々なイベントやPRを実施。

- ・東北の伝統芸能のパフォーマンス。
- ・東北の名産品の試食試飲。
- ・東北の文化体験。
- ・東北各地の観光魅力を発信するブース出展。
- ・地元旅行エージェントによる東北旅行商品説明。等

* 4日間で約4万人が入場。現地でも報道されて大盛況。



平成27年度

観光庁関係予算概要

平成27年1月

観光庁

目 次

1. 観光庁関係予算総括表	1
2. 具体的施策	
(1) 訪日2000万人時代に向けたインバウンド政策の推進	
・ 訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業)	2
・ 国際会議等(MICE)の誘致・開催の促進	2
・ 日本政府観光局(JNTO)運営費交付金	2
・ 広域観光周遊ルート形成促進事業	6
・ ICTを活用した訪日外国人観光動態調査	7
・ 通訳ガイド制度の充実・強化	7
(2) 観光地域づくり支援	
・ 地域資源を活用した観光地魅力創造事業	8
・ 観光地域ブランド確立支援事業	9
・ 観光地ビジネス創出の総合支援	9
(3) 観光産業振興	
・ ユニバーサルツーリズム促進事業	10
・ 旅館の経営改善・情報発信促進事業	10
(4) 観光統計の整備	
・ 観光統計の整備	11
(5) 復興枠	
・ 東北地域観光復興対策事業	12
・ 福島県における観光関連復興支援事業	12
3. 参考資料	13

1. 観光庁関係予算総括表

(単位:百万円)

	27年度 予算額 (A)	26年度 予算額 (B)	倍率 (A/B)	26補正+ 27当初 (C)	倍率 (C/B)
1. 訪日2000万人時代に向けたインバウンド政策の推進	8,451	8,497	0.99	12,417	1.46
訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業)	1,297	6,106	} 0.95	1,297	} 1.35
国際会議等(MICE)の誘致・開催の促進	190	450			
日本政府観光局(JNTO)運営費交付金	6,542	1,912			
広域観光周遊ルート形成促進事業	304	0	皆増	554	皆増
ICTを活用した訪日外国人観光動態調査	100	0	皆増	100	皆増
通訳ガイド制度の充実・強化	20	19	1.06	20	1.06
地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業	0	0	-	300	皆増
前年度限り	0	11	皆減	0	皆減
2. 観光地域づくり支援	628	522	1.20	748	1.43
地域資源を活用した観光地魅力創造事業	290	0	皆増	290	皆増
観光地域ブランド確立支援事業	257	274	0.94	257	0.94
観光地ビジネス創出の総合支援	44	72	0.61	44	0.61
観光地域動向調査事業	38	39	0.96	38	0.96
地域観光振興緊急対策事業(「ふるさと休日」促進等)	0	0	-	120	皆増
前年度限り	0	136	皆減	0	皆減
3. 観光産業振興	62	60	1.03	122	2.02
ユニバーサルツーリズム促進事業	35	37	0.96	35	0.96
旅館の経営改善・情報発信促進事業	27	0	皆増	27	皆増
地域観光振興緊急対策事業(人材育成等)	0	0	-	60	皆増
前年度限り	0	24	皆減	0	皆減
4. 観光統計の整備	460	429	1.07	560	1.30
5. その他(経常事務費等)	309	302	1.02	309	1.02
合 計	9,910	9,811	1.01	14,156	1.44

復興枠

東北地域観光復興対策事業	106	175	0.61	106	0.61
福島県における観光関連復興支援事業	374	374	1.00	374	1.00
合 計	480	548	0.88	480	0.88

総 計	10,390	10,359	1.00	14,636	1.41
------------	---------------	---------------	-------------	---------------	-------------

※「独立行政法人改革等に関する基本的な方針」(2013年12月24日閣議決定)により、平成26年度まで観光庁で実施してきた「訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業)」及び「国際会議等(MICE)の誘致・開催の促進」については、一部観光庁で引き続き実施する分を除き、JNTOを事業の実施主体とする。(P.34参照)

2. 具体的施策

(1) 訪日2000万人時代に向けたインバウンド政策の推進

○訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）【継続】

○国際会議等(MICE)の誘致・開催の促進 【継続】

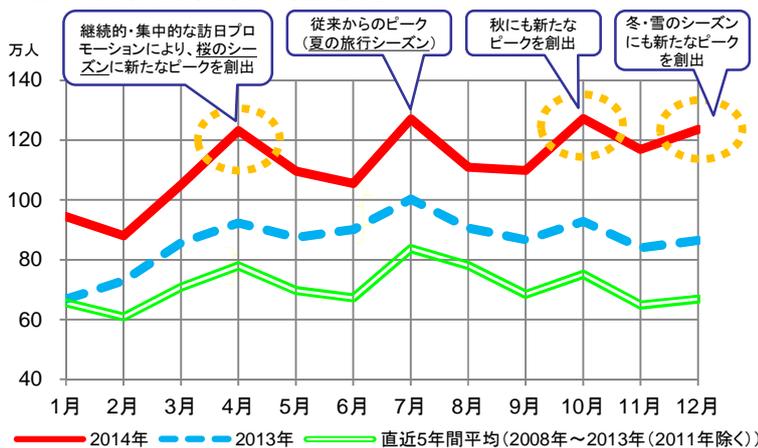
○日本政府観光局（JNTO）運営費交付金 【継続】

（国際観光課、参事官（日本ブランド発信・外客誘致担当）、参事官（国際会議等担当））

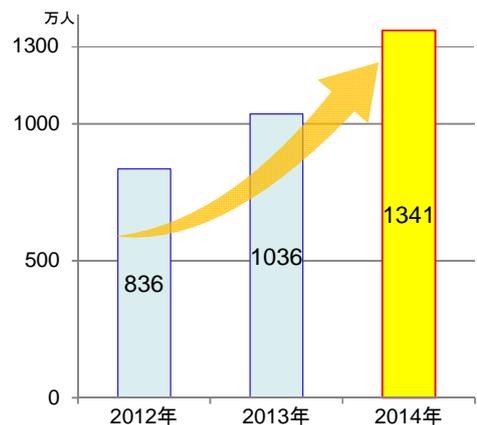
予算額 8,028百万円

訪日外国人旅行者数 2000 万人時代に向けて、訪日プロモーション体制の抜本的見直しを契機に、より戦略的にインバウンド政策を推進する。

【訪日外国人旅行者数の月別推移】



【訪日外国人旅行者数の推移】



《継続的・集中的な訪日プロモーションにより、新たな訪日シーズンを創出し、これを定着へ》

○ビザ要件の緩和、免税店拡大、航空路線の新規就航等の機会を捉えたプロモーションの実施

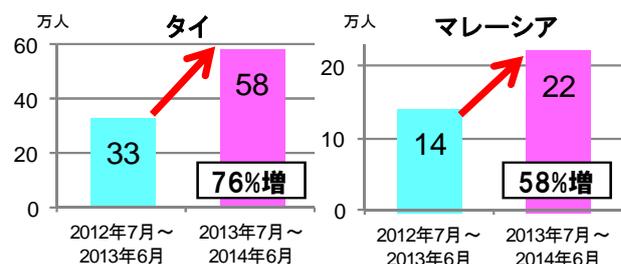
①ビザ要件の緩和を契機として集中的なプロモーションを実施

【主なビザ要件の緩和内容】

旅行者の国籍	以前の措置	2013年の緩和内容	2014年の緩和内容
中国	一次ビザ(団体観光・個人観光) 沖縄・東北三県数次ビザ(個人観光)	-	数次ビザの要件緩和 (2015年1月実施)
タイ	数次ビザ	ビザ免除	
マレーシア	数次ビザ	ビザ免除	
インドネシア	数次ビザ	数次ビザの滞在期間延長	ビザ免除 (在外公館へのIC旅券事前登録)
フィリピン	一次ビザ	数次ビザ	一次ビザの実質ビザ免除 数次ビザの大幅緩和
ベトナム	一次ビザ	数次ビザ	一次ビザの実質ビザ免除 数次ビザの大幅緩和
インド	一次ビザ	-	数次ビザの発給開始
ブラジル	一次ビザ	-	数次ビザの導入決定

【ビザ要件緩和の効果】

2013年7月のビザ免除措置以降、タイ・マレーシアからの訪日旅行者数は急増



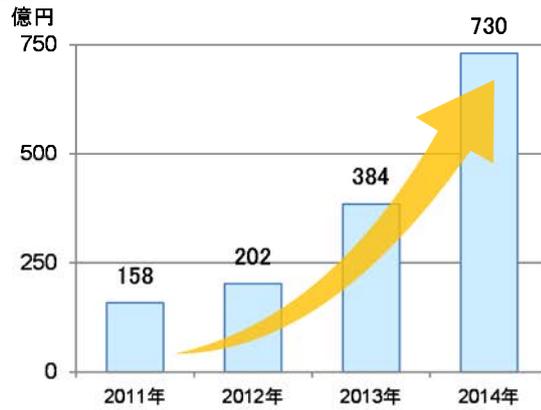
②免税店拡大と連動して日本でのショッピングの魅力を海外へ情報発信

【訪日外国人旅行消費額の推移】



【百貨店における外国人観光客による売上高の推移】

(免税手続きベース)



出典: 日本百貨店協会 作成: 観光庁

【国際旅行収支】

- 過去3兆円を超えていた赤字が、2013年は0.7兆円の赤字に改善
- 2014年4月には、約44年ぶりに単月で黒字を計上(その後、5月・7月・10月・11月と黒字を計上)

ショッピング・ツーリズムの振興へ

【外国人旅行者が日本で実施した活動】

(観光庁調査)

全体	
1位	日本食を食べること
2位	ショッピング
3位	繁華街の街歩き
4位	自然・景勝地観光
5位	旅館に宿泊



【消費税免税制度の拡充】

- 家電、バッグ、衣料品に加え、食品類、飲料類、たばこ、薬品類、化粧品類など、全ての品目を免税対象とするとともに、免税手続きを簡素化(2014年10月1日運用開始)
- 地方における免税店の更なる増加を目指し、免税手続きの第三者への委託を可能とし、商店街や物産センター等において、免税手続きの一括カウンターの設置等を実現(2015年4月1日運用開始予定)

【免税店数の推移】

外国人旅行者向け免税店の飛躍的拡大を推進



出典: 国税庁 作成: 観光庁



③航空路線の新規就航やクルーズ船の寄港拡大等と連動し、海外からのアクセス向上のメリットを最大限活用したプロモーションを実施

【航空路線の新規就航事例】

市場	路線	時期
ベトナム	ハノイ=羽田	2014.7~
カナダ	トロント=羽田	2014.7~
ロシア	ウラジオストク=成田	2014.7~
タイ	バンコク=関西	2014.9~
中国	上海=札幌	2014.10~
米国	サンフランシスコ=羽田	2014.10~
マレーシア	クアラルンプール=成田	2014.11~
フィリピン	セブ=関西	2014.12~
インドネシア	ジャカルタ=中部	2015.3~
米国	ロサンゼルス=関西	2015.3~



航空会社等と連携し、アクセス向上の機会を捉えて効果的にプロモーションを展開



外国船社クルーズ船の日本への寄港拡大の機会を捉え、クルーズ会社等との連携も強化
(港湾局等とも連携)

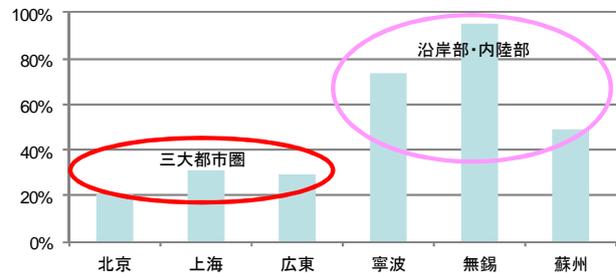
○今後大幅な成長が期待できる市場の取り込み

①中国において、三大都市圏（北京・上海・広東）に加えて、沿岸部・内陸部へのプロモーションを強化

各省・市のGDPと一人当たりGDPの伸率比較
(2013年と2010年の比較)



各市の海外旅行者数の伸率比較
(2013年と2012年の比較)



沿岸部・内陸部主要都市の方が高い伸率

②訪日プロモーション重点市場に、今後更なる成長が見込める6市場を追加

【2013年訪日数上位20市場】

順位	国・地域	訪日旅行者		人口 (千人)	順位	国・地域	訪日旅行者		人口 (千人)	順位	国・地域	訪日旅行者		人口 (千人)
		人数	伸率				人数	伸率				人数	伸率	
1	韓国	2,456,165	20.2%	50,220	8	英国	191,798	10.2%	64,087	15	フィリピン	108,351	27.4%	97,484
2	台湾	2,210,821	50.8%	23,374	9	シンガポール	189,280	33.1%	5,399	16	ベトナム	84,469	53.1%	89,691
3	中国	1,314,437	-7.8%	1,360,763	10	マレーシア	176,521	35.6%	29,620	17	インド	75,095	9.0%	1,243,337
4	米国	799,280	11.5%	316,373	11	フランス	154,892	18.8%	63,660	18	イタリア	67,228	29.8%	59,685
5	香港	745,881	54.9%	7,244	12	カナダ	152,766	12.9%	35,105	19	ロシア	60,502	20.6%	142,929
6	タイ	453,642	74.0%	68,229	13	インドネシア	136,797	34.8%	247,954	20	スペイン	44,461	26.3%	46,610
7	豪州	244,569	18.5%	23,207	14	ドイツ	121,776	11.8%	80,800					
既存の重点14市場										追加6市場				

○ビザ緩和や人口規模の大きさ等から高い伸びが期待できるフィリピン、ベトナム、インド
○遠距離にありながら同条件の英国・フランス・ドイツに対して伸率が高いイタリア、ロシア、スペイン

○オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた訪日プロモーション

オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、ロンドン五輪等の成功事例を参考にして、戦略的にプロモーションを展開するため、海外メディア向け広報素材の提供準備等を進める。

大会効果を全国に波及させるための取組事例



英国全土で開催された文化プログラム



英国全土を巡る聖火リレー

大会効果を持続的なものとするためのプロモーション事例

2012年
【ロンドン五輪の取組事例】



国際的イメージ・キャンペーン
「GREAT」キャンペーン



海外メディア対策
(広報素材の無償提供)

○カルチュラル・オリンピアド(文化プログラム)

英国全土で、音楽・演劇・ダンス・美術・映画・ファッション等の文化イベントを実施。イベント総数約18万件、総参加者数約4300万人(うち約2580万人がロンドン以外の地域のイベントに参加)。

○さらに、在外公館や関係府省庁、地方公共団体、民間企業等との連携を推進し、オールジャパン体制により、効率的にプロモーションを実施する。また、「質の高い」日本各地の魅力の発信を強化し、地方への誘客を促進する。

○グローバルレベルのMICE都市の育成とMICE誘致のプロモーションの強化

※ MICE とは、Meeting (企業等のミーティング)、Incentive (企業等の報奨・研修旅行)、Convention (国際会議)、Exhibition/Event (展示会/イベント) の総称

アジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位を築くため、都市のMICE誘致力を高めるとともに、プロモーションを強化する。



○広域観光周遊ルート形成促進事業 【新規】

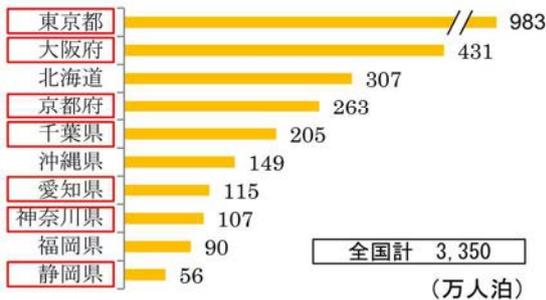
(参事官(日本ブランド発信・外客誘致担当)、
参事官(外客受入担当)、観光地域振興課、観光資源課)

予算額 304百万円

複数の都道府県を跨って、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地を、交通アクセスも含めてネットワーク化して、外国人旅行者の滞在日数(平均6日~7日)に見合った、訪日を強く動機づける「広域観光周遊ルート」(骨太な「観光動線」)の形成を促進し、海外へ積極的に発信する。

ゴールデンルート

都道府県別外国人延べ宿泊者数(2013年)



定住人口減少に対する消費の効果

地域の定住人口1人分の年間消費は、

- ①外国人旅行者10人分
 - ②国内旅行者(宿泊)26人分
 - ③国内旅行者(日帰り)83人分
- の旅行消費に相当

「歴史的風致活用国際観光支援事業」
(国土交通省都市局)と連携



高山市上三之町



高山陣屋

広域観光周遊ルートのイメージ

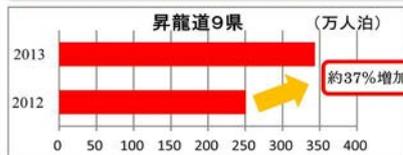
昇龍道の取組(中部・北陸・近畿)

中部北陸9県を「昇龍道」として知名度向上のための官民挙げたプロジェクトを開始

主に中華圏から中部北陸9県へのインバウンドを推進するため、「昇龍道プロジェクト推進協議会」を設立。能登半島を龍頭に見立て、中華圏に人気の龍をモチーフとして「昇龍道」と命名し、昇龍道ブランドとしてプロモートするプロジェクト。



外国人宿泊者数 全国との比較(1月~12月)



(参考: 全国平均約27%増)

(注) 1. 従業者数9人未満の宿泊施設を含む
2. 出典: 観光庁 宿泊旅行統計調査

<参考>ドイツ7街道(ドイツ)



<ドイツの街道観光>

特定のテーマに従って史跡、遺跡、風光明媚な風景などの「観光資源」を結んだルートをドイツ政府観光局や自治体等が連携して設定。

代表例: ロマンチック街道

(中世の古城や宗教建築等歴史情緒を感じる) 街道沿いに中世都市や美しい城、宗教建築、工芸品などが点在し、ワインやドナウ川のます料理など観光資源が豊富なルートであり、もともと人気の高い観光街道。
・訪問者年間2400万人
・宿泊者500万泊超
(「ロマンチック街道協会」HPより)

広域観光周遊ルート形成促進事業(広域の関係者による取り組み)

- 広域観光周遊ルート形成計画の策定
- 数値目標の設定とPDCAサイクルの整備
- 外国人受入環境の整備(免税店の整備、多言語表記、無料公衆無線LAN環境の整備、手ぶら観光の推進等)
- 広域周遊のための交通アクセスの円滑化
- 地域の観光資源を活かした滞在コンテンツの充実
- 広域の関係者の官民連携による体制づくり等

国の支援

- 計画策定に係る費用
- マーケティング費用
- 広域での外国人受入環境の整備
- 広域周遊のための交通アクセスの円滑化
- 海外への情報発信等

○ICTを活用した訪日外国人観光動態調査 【新規】

(観光地域振興課)

予算額 100百万円

訪日外国人旅行者の旅行動態及び潜在的なニーズを把握するため、ICTを活用した動態調査を実施し、新たな広域観光周遊ルートの検討や、観光資源を世界レベルへ磨いて活かす地域づくり等への活用方法の検討を行う。

事業実施内容 ○位置情報データベース等を活用した訪日外国人旅行者の動態調査



○エリア間の移動状況の分析

○エリアにおける入込状況の分析
○エリア内の移動状況の分析



○通訳ガイド制度の充実・強化 【継続】

(観光資源課)

予算額 20百万円

試験を要せず、研修の修了をもって地域限定の通訳案内士の資格を取得できる特例制度が設けられて3年が経過したことを踏まえ、実態調査を行い、外国人旅行者の多様なニーズに応えるための改善策等を検討する。

①特例ガイドに関する実態調査

- 資格取得者の詳細
- 活動状況
(営業形態、活動頻度等)

②制度の検証

- 一般ガイドと特例ガイドの満足度や能力等のモニター比較
- 特例ガイドに対する顧客ニーズの分析

③通訳ガイドの改善方策の検討

- 試験、研修のあり方
- 資格取得者増加方策
- ガイド制度の普及促進策

○訪日外国人の満足度向上
→リピーターの増加

(2) 観光地域づくり支援

○地域資源を活用した観光地魅力創造事業【新規】

(参事官 (外客受入担当)
観光地域振興課、観光資源課)

予算額 290百万円

地域の観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げるため、歴史的景観、美しい自然、海洋資源、豊かな農山漁村、魅力ある食文化等の観光資源を活かした地域づくり施策と、体制づくり、受入環境整備、二次交通の充実等の観光振興のための施策を一体で実施する。

地域づくりの取組と連携した観光地域の例 (各省事業と連携)

豊かな農山漁村の魅力 (北海道帯広市)

《「農」の優位性を活かした
産業と観光の融合》



日本食文化の発信 (三重県鳥羽市)

《地産から地消までを観光客
とともに創りあげる地域》



文化資源・科学技術との連携 (群馬県富岡市等)

《産業遺産を核とした広域
連携での観光振興》



観光関係者による取組

協議会: 市町村、観光協会、交通事業者、関係行政機関その他
地域づくりの取組を実施する者等により構成

取組の評価を踏まえた計画の見直し

計画の策定 (数値目標、取組体制、事業内容等)

マーケティングの実施

地域の魅力を高める取組の実施

①滞在コンテンツの充実・強化

②来訪需要の喚起

③来訪者の利便性等向上

④外国人受入環境整備

等

国による支援

- 計画策定に係る費用
- マーケティング費用
- 着地型旅行商品等の滞在コンテンツの企画・作成費用
- 二次交通の整備に係る実証実験等の実施費用
- 受入環境整備、おもてなしの向上に係る費用 等

＜観光による活性化事例(埼玉県川越市)＞



[歴史的景観]

川越市外国人入込観光客数
2013年 45,000人
2007年 31,000人
(川越市HP「観光統計資料」より)
⇒ 2007年比45%増

歴史的景観を活かしつつ、
・滞在コンテンツの充実
・外国人受入環境の整備
等を総合的に実施

[多言語表記案内板]



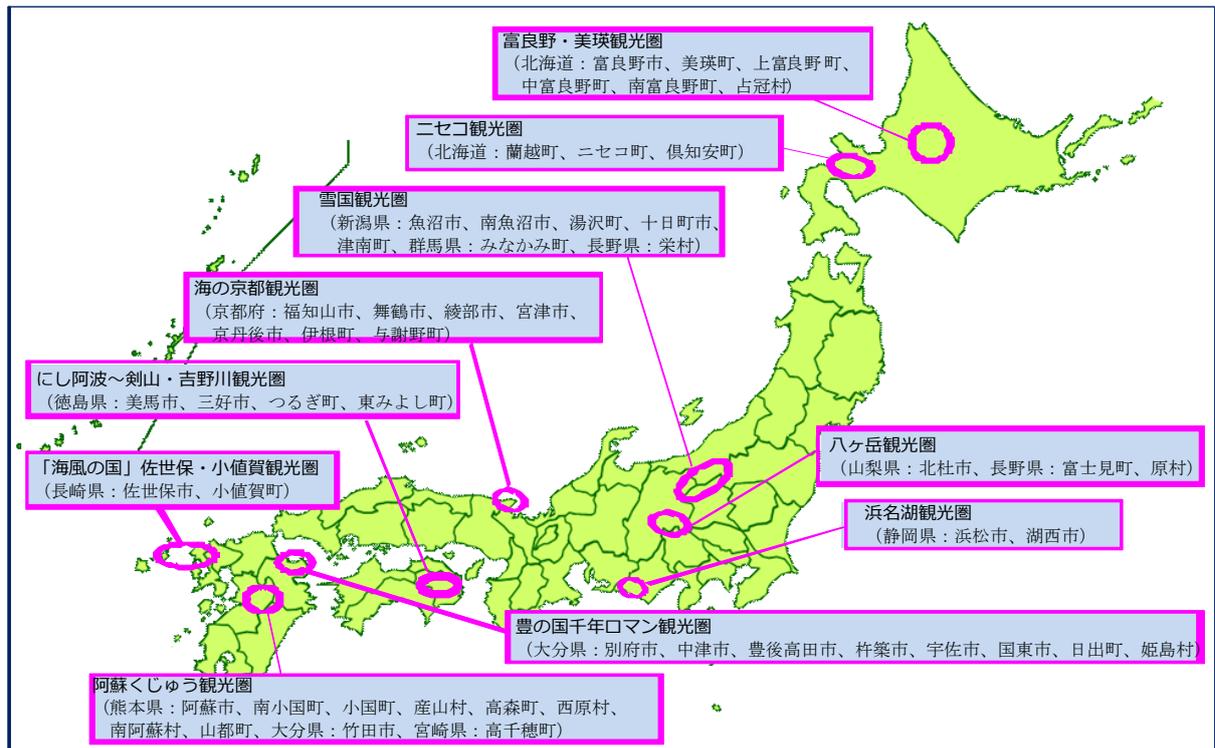
○観光地域ブランド確立支援事業【継続】

(観光地域振興課)

予算額 257百万円

地域の関係者が連携し、国内外から選好される国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」に基づく観光圏整備実施計画の認定を受けた地域について、地域独自の「ブランド」の確立を通じた滞在交流観光の推進に向けた取組みを支援する。

- (1) 地域の将来像の策定、マーケティングの実施等を通じたブランド戦略の構築
- (2) ブランド戦略に基づく、各種事業の実施

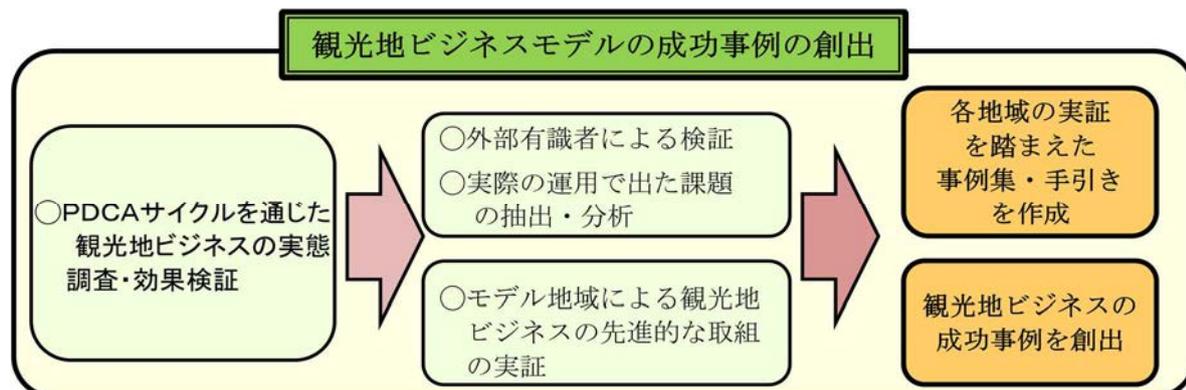


○観光地ビジネス創出の総合支援【継続】

(観光資源課)

予算額 44百万円

各地域の着地型旅行商品を活用した観光地ビジネスを自立的・継続的なものとするため、PDCA サイクルを通じた実態調査と効果検証を実施し、課題の抽出・整理を行うとともに、モデル地域での実証を通じて、観光地ビジネスの成功事例の創出を図る。



(3) 観光産業振興

○ユニバーサルツーリズム促進事業【継続】

(観光産業課)

予算額 35百万円

誰もが旅行を楽しむことができる環境を整備するため、これまでの取組に対する効果検証を行うとともに、新たに、乳幼児を連れた旅行に関して調査・検討を行い、乳幼児連れ旅行のモデルを構築し、ユニバーサルツーリズムの更なる普及促進を図る。

【高齢者・障害者向け旅行の効果検証】

- これまでの取組の効果検証
- ・利用者・消費者評価
- ・経済効果分析 等

地域（受け手）と
旅行業界（送り手）の
自立継続的な取組の拡大

【乳幼児連れ旅行の促進】

- 乳幼児連れ旅行の実態調査
- ・消費者調査
- ・地域・観光事業者調査
- ・旅行業者調査
- ・モニター検証による課題抽出 等

調査結果を踏まえ
乳幼児連れ旅行の
モデルを構築

ユニバーサルツーリズム
の更なる促進



○旅館の経営改善・情報発信促進事業【新規】

(観光産業課)

予算額 27百万円

旅館の地域経済における重要性及び観光資源としての価値に鑑み、前近代的な経営からの改善を促すとともに、その自主的な情報発信を促すことで、旅館業の再生・強化並びにこれによる地域経済の活性化及び観光産業の振興を図る。

産学連携による教育プログラムの構築

- ・産学官WGによる「旅館経営モデルカリキュラム案」の作成
- ・産×学によるケース教材の作成・普及



「旅館」の認知度向上のための情報発信

- ・旅館が主体となって、旅館及び地域の魅力を伝える動画・画像を作成
- ・優れた作品をJNTOのウェブサイトを通じて世界に発信



(4) 観光統計の整備

○観光統計の整備【継続】

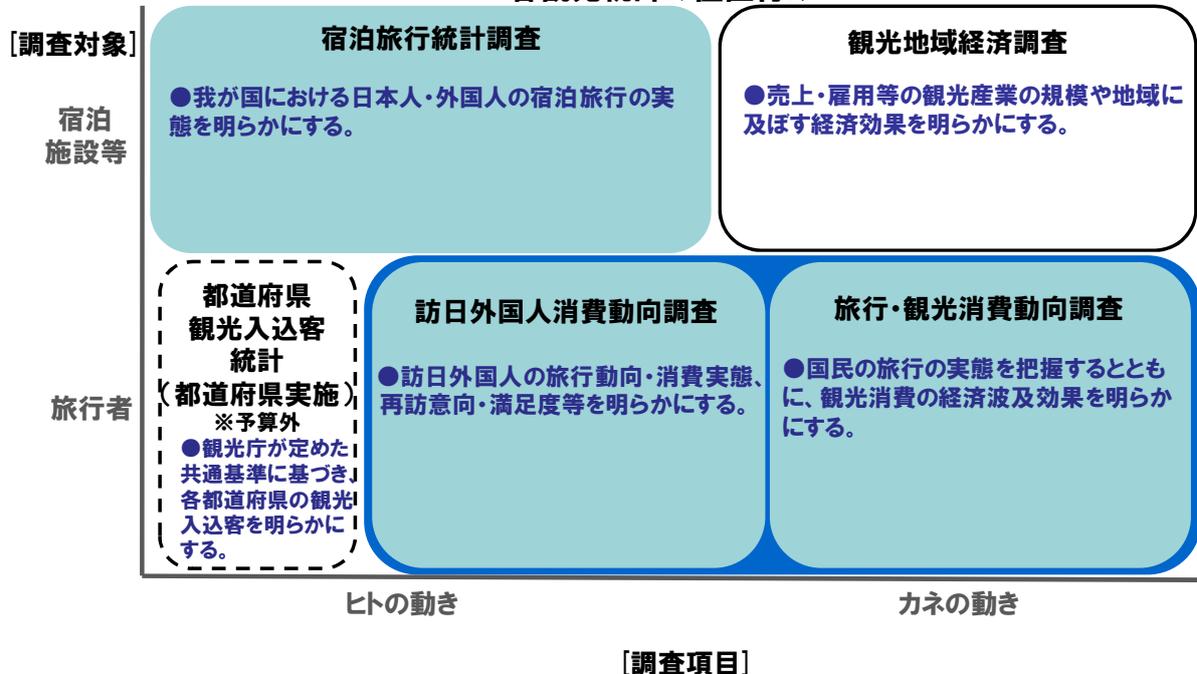
(観光戦略課)

予算額 460百万円

訪日外客誘致施策の更なる強化や、地方創生に資する観光施策の展開が求められる中、行政・民間による取組をPDCAサイクルに基づいて早急かつ着実に実施するため、観光施策の基本インフラである観光統計の整備を着実に進める。

「宿泊旅行統計調査」は速報性を強化するため、調査期間を四半期毎から毎月に変更する。また、「訪日外国人消費動向調査」は調査内容を拡充し、地方を訪れる訪日外国人の実態をより詳細に把握する。

各観光統計の位置付け



(5) 復興枠

○東北地域観光復興対策事業【継続】

(観光地域振興課)

予算額 106百万円(復興庁計上)

太平洋沿岸エリアの各地域が、復興プロセスに応じた滞在交流促進の体制づくりや取組みを段階的に実施するための支援を行う。併せて、地域の実情に応じ、ツアーの企画・造成等への支援や観光復興に関する課題の抽出や解決策についての調査・検討を実施し、自立した地域づくりに向けた体制確立を図る。

事業概要

1. 滞在を促進する仕組みの構築

2. 風化防止の啓発活動

3. 地域の情報発信体制の確立

4. 地域体制作りの促進

5. 地域の旅行商品の造成促進

6. 復興ツアー等の推進



[ポータルサイト「東北物語」]



[震災語り部]

東北太平洋沿岸エリア13
地域で滞在交流による地域
振興を促進



地域毎の復興の進捗状況に応じた支援を実施

○福島県における観光関連復興支援事業【継続】

(観光戦略課、観光産業課、国際観光課、参事官(日本ブランド発信・外客誘致担当)、参事官(外客受入担当)、参事官(国際会議等担当)、観光地域振興課、観光資源課)

予算額 374百万円(復興庁計上)

福島県における早期の観光復興を最大限に促進するため、同県が実施する風評被害対策及び震災復興に資する観光関連事業に対して補助を行う。

(補助率：総事業費の8/10)